

視察研修・研修会等報告書

議席番号（15）議員名（大島 文男）

1. 年 月 日 平成 27 年 10 月 6 日（火）（日数 2 泊 3 日）
2. 場 所 北海道稚内市
3. 視察、研修事項 『再生可能エネルギー（風力・太陽光発電）推進』の
取り組みについて
 - (1) 取り組みまでの経過について
 - (2) 取り組みの現状・状況について
 - (3) これからの課題について
4. 面 接 者 稚内市 エネルギー協働課

環境エネルギーグループ 主査 市川正和

5. 視察研修、研修会の成果

稚内は 年間を通じて 7m の風が吹いている。平成 10 年より発電が多くなつて来た。平成 10 年 稚内公園に 1 基 225kw で 1 億 4000 万円かけて完成その後 660kw の 3 基で上水道の電気をまかなう 次に 1000kw の 57 基を宗谷岬ウインドファームに 120 億円かけて設置し（株）ユーラスエナジー宗谷が運営、ここでの風車は稚内の 7 割の電気をまかなえる能力があり 74 基で 36,355kw がまかなえる風車発電が完成した。今後は 洋上風力発電の取り組みを地方創生事業で 検討している。

視察研修・研修会等報告書

議席番号（15）議員名（大島 文男）

1. 年 月 日 平成27年10月7日（水）（日数2泊3日）
2. 場 所 北海道留萌市
3. 視察、研修事項 『るもい健康の駅とるもいコホートピア構想』の
取り組みについて
 - (1) 取り組みまでの経過について
 - (2) 取り組みの現状・状況について
 - (3) これからの課題について
4. 面 接 者 留萌市市民健康部コホートピア推進室
5. 視察研修、研修会の成果

このコホートピアは 市民が主体的に実施する健康づくり活動を支援して健康に対する意識向上と健康増進に向けた予防医学の拠点として設置した。

施設は 健康体験室、ホール、健康相談室、健康サロン、軽運動室、事務室、等を整備した。

その事業のものは るもいコホートピア構想であり 予防医学の立場から健康に対する課題を洗い出し、地域住民の協力を得ながら市民に価値ある医学研究を確立し 大学や企業を誘致して 地域の活性化をはかる。

旭川医大との地域連携事業を推進している。市民生活と地域の研究機関の連携を強くして 地域住民の健康を守る事業であるとして この事業の推進に多

くの人々の協力を得ている事を感じました。

視察研修・研修会等報告書

議席番号（15）議員名（大島 文男）

1. 年 月 日 平成27年10月8日（木）（日数2泊3日）

2. 場 所 北海道滝川市

3. 視察、研修事項 『地域おこし協力隊（観光）推進』の

取り組みについて

4. 面 接 者 滝川市 議会事務局 藤井

5. 視察研修、研修会の成果

地域おこし協力隊は 滝川観光協会に2名配置され 菅原哲（33才）さんは、活動するにあたり 人脈をつくる事を目的にイベント活動の協力 情報発信を中心に活動してきた。

又 槌本陽（30才）さんは 市の丸加高原伝習館に勤めて 自然ガイド、自然プログラムの企画運営にあたってきた。

又 これからは 協力隊として事業を進めつつ 任期（特別交付税）3年を過ぎてからの身の振り方について 自身で決めていかなければならない。現実には特別交付税 月166,000円+家賃35,000円であり 雇用条件は余りよくない状況である。地方で働く場所を見つけるための体験的な協力隊とか 地方においての都会からの移住促進にも結び付けているのも 地方での都市取り組みになっている。

視察研修・研修会等報告書

議席番号（15）議員名（大島 文男）

1. 年 月 日 平成 27 年 10 月 14 日（水）（日数 2 泊 3 日）

2. 場 所 大阪府 池田市

3. 視察、研修事項 『地域分権制度』の取り組みについて

(1) 取組に至る経緯について

(2) 取組の成果について

(3) 今後の課題と展望について

4. 面 接 者 池田市 総合政策部 地域分権・協働課

副主幹 北村 仁志 課長 岩寄 隆

5. 視察研修、研修会の成果

大阪府池田市は 大阪府の 6 番目の市制施行の市であり人口 10 万人の街であり 街の広さは 22 km²であり 西は兵庫県と接しており インスタントラーメン 発生の町であり市の方向性は ガーデンシティー構想を中心に自分達の街は自分達で作ろうを合言葉に 2007 年にスタートして当初歳入の 1%を地域に還元して 街づくりに当初の市長発案にて導入された施策であり 11 の小学校区を単位に地域コミュニティー推進協議会を立ち上げ 地域の人なら誰でも参加でき 地域の代表者（自治会・地域福祉委員・PTA など）と連携して すべて無償の協議会を立ち上げ事業の実施は このコミュニティー協が各協議会より市に対する地区内の事業を拾い上げ それを市に提案し市の内部で検

討し各地区での事業を決定し補助金の額を決定して それに合わせて各地区において 市の事業において、係る事業の内容について 市実施事業と称して 各地区の提案額を市実施事業費と地域事業実施費を合わせて 各地区に提示額を示し 年間事業を実施していく事になって居り 事業で余った額または単年度で支出出来ない大きくかかる事業については 次年度繰越額に回し資金を繰り越しも出来ることになって居り 多い地区では9年間の中で繰越額は5853千円にもなって居り 11地区の内 半数の地区で次年度繰越金として管理しているのが実情であり この事業の特別な仕様になって居り 地域住民の自主事業 等を含めて 自分たちの街は自分たちで作ろうという考え方が見受けられた市の説明があり大変参考になった研修内容でありました。

視察研修・研修会等報告書

議席番号（15）議員名（大島 文男）

1. 年 月 日 平成 27 年 10 月 15 日（木）（日数 2 泊 3 日）
2. 場 所 徳島県 神山町
3. 視察、研修事項 『IT 企業の地方誘致（限界集落再生バレー）』の
取り組みについて
 - (1) 取組に至る経緯について
 - (2) 取組の成果について
 - (3) 今後の課題と展望について
4. 面 接 者 神山町 産業観光課 課長補佐 高橋 成文
5. 視察研修、研修会の成果

徳島県の神山町は 徳島市より約 40 分に位置する農業と林業の町であり す
だちは日本一の産地であります。人口 5923 人で高齢化率は 46.97%で、徳島
県でも二番目に高い地区である。

合併当時（昭和 30 年）は 人口 20916 人であったが今は人口が大きく減少す
る街になって居り 議員は現在 12 人 今年 12 月の改選時は 10 人になる見込
みである。

この地方創生のモデル的な街になったのは 全町に高規格のヒカリ回線が張
りめぐらされており 又 NPO 法人グリーンバレーの活動により IT を含めて
東京から徳島空港まで 60 分 空港から神山町まで 60 分の首都圏と近いため

ITベンチャー企業の12社が「サテライトオフィス」を開店させた。又 ワークインレジデンスは カフェ・パン屋・ピザ屋・靴屋・ゲストハウス 等が続きと開店した。空き家を利用したIT企業が進出した過疎の町と働く場所に 田舎に 又 人材の誘致で未来が変わる。

東京から徳島空港まで1時間、それから神山町まで25分で 東京日帰り出張も可能な街になり田舎が変わった事例である。

視察研修・研修会等報告書

議席番号（15） 議員名（大島 文男）

1. 年 月 日 平成27年10月16日（金） （日数2泊3日）
2. 場 所 兵庫県 相生市
3. 視察、研修事項 『子育て支援宣言都市（子育て支援11の鍵）』の

取り組みについて

- (1) 取組に至る経緯について
- (2) 取組の成果について
- (3) 今後の課題と展望について

4. 面 接 者 相生市 企画総務部 定住促進室

5. 視察研修、研修会の成果

相生市では 子育て応援都市宣言に至るまで 財政健全化の取り組みを行ない 27億6000万円の効率を得て 事業の実施に結びつけた。

その中で 相生の人口は 昭和49年の42188人が最高人口であり その後 減り続けている。平成22年には 人口31171人であり年少人口（15才未満）が県下で最下位であり 相生市のこれからが大変なことになるとの考え方により 活力向上を願い子育て応援都市宣言を行ない 相生市が暮らしやすい11の鍵の実施を行なった。

この中には 出産祝金支給 1人につき50,000円の支給、マタニティータクシークーポン券 10,000円分を贈る、給食費の無料化、保育料軽減事業、新婚世

帯家賃補助事業(3年以内 月1万)、定住者住宅取得奨励金(40才未満 50万)、市外転入(40才未満 30万)等 多くの支援事業を行ない 活力ある人口減少にストップをかける施策を行ない 市の街づくりの実施を行っている内容でありました。

視察研修・研修会等報告書

議席番号（15）議員名（大島 文男）

1. 年 月 日 平成28年1月13日（水）（日数2泊3日）
2. 場 所 アグリパーク豊野
3. 視察、研修事項 『アグリパーク豊野』の取り組みについて
4. 面 接 者
5. 視察研修、研修会の成果

視察当日 矢板駅を朝6:40出発 10:15発 羽田から熊本空港へ 12:10着 その後 ワゴン車でアグリパーク豊野へ向かい その食堂で昼食をいただき 研修に入った。

アグリパーク豊野は 平成4年 物産館、農産物直売所、農産加工を中心にオープンした。当時は 豊野町が運営していた。平成16年に（有）アグリパーク豊野が設立され 第三セクターで運営されてきた。又 平成17年に市町村の合併があり（有）アグリパーク豊野は 現体制に変更された。

平成24年には 買い物支援と直売所、平成26年には 農家バイキングレストラン「あぐみ野」をオープンさせた。

買い物支援は 現在160戸の会員がいて それを回っているお年寄りにも大いに喜ばれている。今後 地元農産物の安定的な生産と後継者育成 等 地元の期待は多い。

視察研修・研修会等報告書

議席番号（15）議員名（大島 文男）

1. 年 月 日 平成28年1月14日（木）（日数2泊3日）
2. 場 所 熊本県雲仙市
3. 視察、研修事項 『定住促進』の取り組みについて
4. 面 接 者
5. 視察研修、研修会の成果

平成25年 人口減少に対して分析を実施し 平成26年の予算編成説明時に全職員に対して 今後の対策と対応を周知を行なった。
の を

人口減少の主な要因は若い世代が 市外に流出していることが最大の要因であると 平成26年から定住促進奨励補助金制度を作り取り組んだ。

対象者は 55才以下 雲仙市に新築住宅を取得した者に対して 固定資産税の半分（最大10万）を減免する。

又 中古住宅取得に対して定額10万円を 又 18才以下の子供1人に1万円を助成する。平成26年に36件の実績 平成27年12月現在 29件 中古住宅の補助金は3件であった。今後は PR活動を続けて周知していくとのことでおりました。

視察研修・研修会等報告書

議席番号（15）議員名（大島 文男）

1. 年 月 日 平成 28 年 1 月 15 日（金）（日数 2 泊 3 日）
2. 場 所 長崎県大村市
3. 視察、研修事項 『市民交流プラザおおむら』の取り組みについて
4. 面 接 者
5. 視察研修、研修会の成果

平成 21 年 10 月に親和銀行 大村支店の跡地を 『市民交流プラザおおむら』
にとの構想が発表された。

平成 21 年 12 月 中心市街地活性化基本計画が承認され 平成 23 年 3 月 15
日 この用地を取得した。

平成 25 年 2 月に工事着工 平成 26 年 11 月 市民交流プラザ（プラザおおむ
ら）がオープンした。

市民交流プラザの運營業務委託 来館者 約 280 万人である。このプラザの年
間運営費は 4,500 万円であり使用料収入は年 310 万円に達している。

又 5 階～12 階は 分譲マンションであり 建設コストはマンションの方
で販売利息でペイしており 土地の利用形態を考えた建設コストの大幅減を
実現した中心市街地活性化事業のモデル事業であると感じた研修である。